

デジタル金融の世界を切り拓く

# CAICA DIGITAL REPORT 2024

[ 2023年11月1日 — 2024年10月31日 ]

## CAICA DIGITAL 理念

CAICA DIGITALは、社員一人ひとりの個性を尊重し、  
技術・経験等あらゆる英知を結集して、  
お客様に満足度の高いサービスを提供することにより、  
人々の豊かな生活の実現に貢献します。

### CAICA DIGITAL 行動指針

1. 私たちは、新しい価値創造と革新にチャレンジします。—— 価値創造、革新、挑戦
2. 私たちは、プロフェッショナルとして喜ばれる仕事を追求します。—— プロフェッショナル、顧客志向
3. 私たちは、チームワークを大切にし、一丸となって取り組みます。—— チームワーク、協働
4. 私たちは、仕事を通じて自己実現を目指します。—— 自己実現
5. 私たちが、自ら会社を創り上げます。—— 主体性

### 目次

CAICAグループ組織図	1	OUR GOVERNANCE	
沿革	2	役員一覧	16
経営方針	3	サステナビリティ	19
CEOメッセージ	4	コーポレート・ガバナンス	20
グループ各社の紹介		FINANCIAL & CORPORATE DATA	
CAICA テクノロジーズ	8	財務ハイライト(連結)	21
カイカ フィナンシャルホールディングス	11	会社概要	22
特集	12	株式情報	23

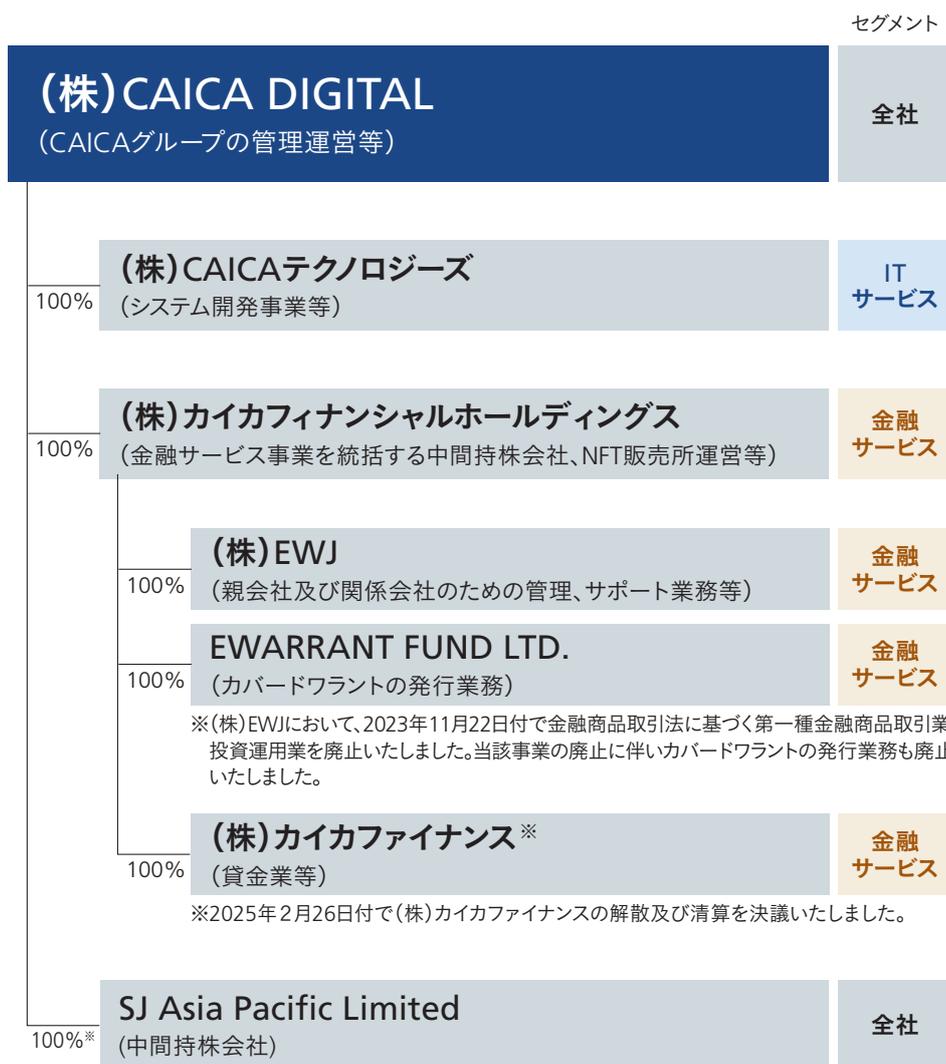
# CAICAグループ組織図

2024年10月31日現在

## 事業構造を抜本的に見直し、 不採算事業から撤退完了

一部金融サービス事業から退き、  
安定的なキャッシュ・フローを産むITサービス事業に集中

- ◆ EWARRANT INTERNATIONAL LTD.の清算手続きを開始
- ◆ CK戦略投資事業有限責任組合及び株式会社CAICAデジタルパートナーズの清算を結了



\*EWARRANT FUND LTD. 保有25.0%含む

# 沿革

2024年10月31日現在

## グループ再編の流れ

2024	<b>事業構造を抜本的に見直し、不採算事業から撤退</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・6月 子会社の株式会社CAICAデジタルパートナーズを解散及び清算決議し、2024年9月に清算終了</li><li>・6月 子会社のCK戦略投資事業有限責任組合を解散及び清算決議し、2024年8月に清算終了</li><li>・6月 子会社のEWARRANT INTERNATIONAL LTD.を解散及び清算決議し、清算手続きを開始</li></ul>
2023	12月 子会社のカイカ証券株式会社を株式会社EWJに商号変更	<b>赤字を解消し、筋肉質な組織へ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・11月 子会社のカイカ証券株式会社の第一種金融商品取引業と投資運用業を廃止</li><li>・10月 子会社の株式会社カイカエクスチェンジホールディングス(現商号:株式会社ZEDホールディングス)の全保有株式を譲渡したことに伴い、同社、株式会社カイカエクスチェンジ(現商号:株式会社Zaif)及び株式会社カイカキャピタル(現商号:株式会社Web3キャピタル)の3社を非連結子会社化</li></ul>
	2月 EWM(HONG KONG) LIMITED 清算終了	
2022	<b>Web3事業に参入</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・11月 株式会社カイカフィナンシャルホールディングス NFTローンチパッド(一次販売)のZaif INOの運営を開始</li><li>・10月 Web3事業への参入表明</li></ul>
	7月 EWC匿名組合 EWA匿名組合 解散	
2021	12月 子会社の株式会社カイカフィナンシャルホールディングスを通じて株式会社フィスコ・キャピタルの全株式を取得し、連結子会社化、商号を株式会社カイカファイナンスに変更	
	<b>株式会社CAICA DIGITAL</b>	11月1日、株式会社CAICAより商号変更
	<b>株式会社 カイカフィナンシャルホールディングス</b>	11月、会社分割により金融サービス事業を統括する中間持株会社として設立
	<b>CAICA(カイカ)ブランドへの統一</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・11月 子会社のeワラント証券株式会社をカイカ証券株式会社に商号変更</li><li>・11月 子会社の株式会社Zaif Holdingsを株式会社カイカエクスチェンジホールディングスに商号変更</li><li>・11月 子会社の株式会社Zaifを株式会社カイカエクスチェンジに商号変更</li><li>・11月 子会社の株式会社Zaif Capitalを株式会社カイカキャピタルに商号変更</li></ul>
	<b>株式会社 Zaif Holdings</b>	8月、株式交付によりZaif Holdings株式を追加取得し、83.76%を取得
	<b>株式会社 Zaif Holdings</b>	3月、Zaif Holdings株式を40.72%保有し実質支配力基準により連結子会社化。これに伴いZaif Holdingsの子会社である株式会社Zaif及び株式会社 Zaif Capitalも当社の連結子会社化
	3月 持分法適用関連会社である株式会社ネクスの全株式を譲渡	
	2月 株式会社フィスコとの資本業務提携を強化	
	2月 株式(上場、未上場)、社債(上場、未上場)等への投資を行うCK戦略投資事業有限責任組合を設立	
2020	12月 当社子会社であるeワラント証券株式会社と共に、暗号資産及び暗号資産デリバティブへの投資を行うEWC匿名組合の運営する「暗号資産ファンド」、現代アートへの投資を行うEWA匿名組合の運営する「アートファンド」へ出資し子会社化	
	11月 企業サポートプラットフォームの運営事業等を担う株式会社CAICAデジタルパートナーズを設立	
	<b>IT金融企業の更なる深化へ</b>	<b>株式会社CAICA</b> 3月1日「株式会社カイカ」が持株会社制へ移行、「株式会社CAICA」に商号変更
		3月1日 「株式会社カイカ」が会社分割(吸収分割)により、情報システム事業を <b>株式会社CAICAテクノロジーズ</b> に承継
2019	<b>IT金融企業へ変革</b>	
2018	<b>金融事業に参画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・eワラント証券株式会社</li><li>・EWARRANT INTERNATIONAL LTD.</li><li>・EWARRANT FUND LTD.</li></ul> eワラントグループを子会社化
		<ul style="list-style-type: none"><li>・株式会社フィスコデジタルアセットグループ(現 株式会社Zaif Holdings)</li></ul> 株式会社フィスコデジタルアセットグループ(現 株式会社Zaif Holdings)を持分法適用関連会社化
2017		<b>株式会社 カイカ</b> 2月1日 「株式会社SJI」⇒「株式会社カイカ」に商号変更
2016	<b>フィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンや暗号資産に注力</b>	
2009		<b>株式会社 SJI</b> 国内会社を統合し、商号を「株式会社 SJI」に変更

2006			株式会社SJアルピーヌ(SJA)
2005	株式会社SJホールディングス(SJH)	株式会社サン・ジャパン(SJ)	株式会社ティー・シー・シーと株式会社アイビートの営業全てを承継する新会社「株式会社SJアルピーヌ」を設立
			株式会社SJHから営業権継承し新会社設立
2004			株式会社サン・ジャパンと経営統合
2003	2003年3月4日	日本証券業協会に株式を店頭登録	
2002			株式会社アイビート(IBet)
1989	株式会社サン・ジャパン(SJ)		
			東京都文京区に設立
1977			株式会社ジャパンシステムクリエーション(JSC)
1969	株式会社ティー・シー・シー(TCC)	株式会社ソフトウェアマネジメント(SMC)	東京都新宿区に設立
			神奈川県横浜市に設立
			東京都新宿区に設立

## 経営方針

### 2025年10月期の方針

#### ITサービス事業

- DXソリューションサービスによるSIビジネスの伸長

#### 金融サービス事業

- 既存Web3事業の拡大
- M&Aによる事業拡大

### 2025年10月期の連結業績予想 (2024年11月1日~2025年10月31日)

	FY2024実績	FY2025予想
売上高	5,606百万円	6,220百万円
営業利益	△159百万円	215百万円
経常利益	△263百万円	215百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△359百万円	196百万円



### 経営方針

当社グループは、時流を捉え、革新的な事業を創造することを目指しています。数多くの金融システム構築で培った知見と最先端のテクノロジーに、金融事業のノウハウを融合させることで得られるデジタル金融としての新たなナレッジを活かしたサービスを取引先に提供するとともに、デジタル化が進む社会の中で金融と社会が大きく変貌するパラダイムシフトに合致した企業グループとして革新的なサービスを生み出していまいります。

### 経営環境に対する認識

当社グループが創業以来手掛けてきたシステム開発事業(Sier事業)は、DX(デジタルトランスフォーメーション)化の進展により、事業構造が大きく変容していくものと考えており、近い将来、業界再編が加速し、劇的な変革に迫られるシナリオも想定しております。これらをふまえ、当社グループでは、50年以上にわたる金融機関向けシステム開発の知見を基に2016年よりフィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンに注力し、2022年からWeb3事業に参入いたしました。

**改革を推進した2024年10月期を終え、  
黒字体質へと構造転換した当社グループは  
2025年10月期の目標達成へと邁進します。**



CEO 代表取締役社長  
**鈴木 伸**

2024年10月期を振り返って：

**営業キャッシュ・フローが黒字となり、  
黒字体質に転換しました。**

2024年10月期においては、ITサービス事業では、ブロックチェーンやセキュリティなどの当社グループの注力領域は、大きく拡大する状況ではありませんでしたが安定的に推移しました。金融サービス事業においては、Web3や暗号資産などの新しい市場への先行的な投資が継続し、今後も引き続き期待できる環境となっています。

こうした状況のもとで、当社の連結決算は、期初には通期で黒字化を見込んでいましたが結果的には赤字決算となりました。この主な要因としては、当社グループが保有する暗号資産の評価損を計上したことによるものです。一方、営業キャッシュ・フローについては、第2四半期連結累計期間から黒字に転換いたしました。これは、ITサービス事業において利益率の高い案件を選別して受注したことにより利益が大幅に増加したこと、さらに金融サービス事業の事業再編による販管費の削減効果によるものです。ITサービス事業における利益率の大幅な改善は、評価できる成果だと考えています。2025年10月期も引き続きITサービス事業が業績を牽引しますが、加えて新規事業であるDXソリューションの業績への寄与を見込んでおり、連結売上高は、前年度より614百万円増の6,220百万円となる見通しです。

暗号資産の評価損の計上については、大半を2024年10月期に評価損計上し、備忘価格に設定済みですので、2025年10月期は暗号資産評価損の計上は見込んでおりません。今後は、暗号資産の売却額は利益に計上される見通しです。ただ、暗号資産交換所のZaifという私たちにとって非常に大きな事業を手放したことは、当社グループにとって大きなチャレンジテーマの喪失でありました。一方で、ITサービス事業にあらためて注力し直すという転機ともなり、私たちのもっとも得意とする分野をいかに拡大し、面白くしていくのか、今後の道筋を見通すことができたことは、将来的に良い効果をもたらすものだと捉えています。

私は、今後の業績回復に向けては3つの戦略を進めていきます。第一に、創業時からのITサービスにおけるSI事業を大きな柱として、利益性を向上させながら拡大していくことです。次にWeb3の展開です。この新たな領域でマーケットの拡大に合わせて、NFTの販売プラットフォームであるZaif INO事業と、自社発行の暗号資産であるカイカコインを活用した事業を推進します。そして第三に、DXソリューションサービス事業の拡大です。これは、顧客のDXにソフトウェアの開発やクラウドの管理なども含めたフルSIを展開するもので、創業時からの経験、知見を生かし、成長を目指します。当事業は一次請けを原則として展開し、収益性の向上も図る計画です。

#### 中期経営計画の進捗と今後の取り組み：

## 改革を進め、新規事業であるDXソリューションサービスの拡大などにより、成長を目指します。

中期経営計画における取り組みでは、計画の1年目は金融事業の再編や受注条件の向上など、改革を積極的に推進しましたが、先に述べたように赤字決算という結果になりました。2年目となる2025年10月期はこの改革の成果をすべてプラスに働かせ、しっかりと数字を伴った事業構造を整備します。私は、すでにこの構造転換は概ね完了していると考えており、計画の3年目である2026年10月期は目標達成に向かって着実に取り組みを進めていく考えです。掲げた目標を必ず達成し、次なる成長戦略を構想しなければならぬと認識しています。なお、2025年10月期の連結業績見通しは、新規事業であるDXソリューションサービスを含めたITサービス事業全体の拡大に加え、2024年10月期に赤字幅を大幅に縮小し、体質改善が順調に進展したこともあり、黒字化する見込みです。

事業面においては、新規事業であるDXソリューションサービスの拡大を図る計画で、成長戦略において非常に優先度が高いテーマと位置付けています。この事業は、大規模エンタープライズ向けのDXソリューションを有する大手海外ベンダーと提携し、DXコンサルティングからDXソリューションの販売、導入、付随するシステムの開発、保守運用までをフルSIとして提供するサービスです。具体的には、グローバル135か国以上にソフトウェアビジネスを展開するHCLSoftwareとビジネスアプリケーションの統合型プラットフォームを展開する米国のPegasystemsと業務提携し、DXソリューションサービスを提供します。私たちは販売代理店として両社の製品・サービスを販売し、カスタマイズや保守・運用までサポートします。これらのサービスは、幅広い業種の大手企業向けにDXを推進するプロダクトソリューションを提供するものです。さらに、サービスに関連したシステムが必要であれば、私たちがシステム開発もワン



ストップで担っていきます。またHCLSoftwareの主力製品については、当社が従来取り扱ってきた得意とする製品分野で、同社からも大きな期待が寄せられています。私たちとしても両社のサービスを理解して販売できる人材の採用を進めており、1人当たりの売上も順調に伸びているところです。

Web3の展開について：

## NFT漫画プロジェクトなど、ブロックチェーン及び暗号資産の知見を生かした新事業展開を目指します。

「分散型インターネット」と称される次世代のインターネットWeb3は、ブロックチェーンをはじめとする技術を利用し、情報を分散管理するものです。あらためて私たちにとってWeb3とは、マーケットと対話し、コミュニケーションをとりながら、サービスの形態を変化させていくビジネスモデルを指します。例えばサービス内容を固定するのではなく、マーケットとの対話に基づいて柔軟に変化させていく、あるいはトライアルのサービスをスタートしながら、お客様の様々な意見を吸収してサービスに反映していく手法が挙げられます。また、他社の事業サービスと連携させることで、当社だけでは展開できないサービスをするモデルを構想しています。

NFTについては、Zaif INOと株式会社実業之日本社とのコラボレーションによるNFT漫画プロジェクトがスタートしています。これは、投資をしていただいた読者と一緒に作家を応援し、出版を目指すプロジェクトです。そこにNFTを仲介させることで一般読者もこのビジネスに参加できる仕組みです。NFT漫画プロジェクトのNFTも最初はクラウドファンディングのように集められた資金で漫画家が新しい作品を世に出し、それを読む権利からスタートしました。現在では権利の内容を進化させ、NFTを購入した方が編集会議や漫画のストーリーに参加できるといった権利も組み込みました。すでに出版が決まった作品もあります。

NFT市場では、所有者や様々な権利をデジタルで証明することに加え、その権利の内容や価値を変化させていくことも可能です。その結果として生まれる新たな価値が市場価値を持ってさらに広がり、NFTの特性を活かしたビジネスモデルが形成されています。私はこうした仕組みが、音楽やスポーツなど様々な分野で、新たな才能を発掘し世に出すツールにもなると考えています。漫画というジャンルはNFTとの親和性が高いので、NFT新規事業の第一弾に選びました。

CAICA DIGITALグループは、長年におよぶITサービスの経験とZaif運営を経て獲得した暗号資産の経験を有しており、これは日本でも私たちだけの強みであると考えています。この強みを生かし、今後、Web3領域で様々な企業と新たなビジネスを開拓していくことで選択肢を拡大していく計画です。

なお、AI技術の目覚ましい進化によって今後は、プログラムコードを書く作業などは、かなりの部分をAIが代替していくと私たちは考えています。そうした環境変化にあって、私が当社のエンジニアに求めるのは、プログラムコードを書くことだけではなく、お客様と対話し、そのニーズをITの視点で捉え直し、レベルアップをしていくことです。

人材開発・育成について：

## お客様のビジネスを大きくする、 面白くする人材の採用・育成に努めます。

私たちは、高スキル人材の採用と、人材育成に注力しています。ITサービス事業やフィンテック業界における採用市場は、ますます厳しい状況です。当社ではITサービス事業において一次請けにシフトしており、優秀な人材の活躍の場が増えるため、人材獲得についてはこれが優位に働くと考えています。今後、システムを作り上げることにとどまらず、お客様とともに新規ビジネスを成功に導くためのビジネスパーソンとしてのスキルが非常に重要になります。加えてAIなど、ITの専門性がさらに高まり細分化されていく中、フィンテックや暗号資産の技術を幅広く理解しているエンジニアのニーズが高まっていきます。

こうした中で人材採用を進めるため、中途採用に関しては専門の人材紹介会社と契約しています。また、事業分野の広がりに伴い、今後は社員からの紹介制度を強化する予定です。一方、新卒採用については、ユニークな取り組みとして求人期間を他社よりも長めに設定しています。こうすることで、多様な人材と出会えるチャンスが増えるメリットがあります。求める人材は、お客様のビジネスと一緒に大きくする、面白くする、そしてチャレンジを成功させる、様々な選択肢を提供できる人物です。中期経営計画では、ITサービス事業の人員増加と、1人当たりの売上拡大(2023年度比で8.5%増)を目標に掲げています。

ステークホルダーの皆様へ：

## ITを使った多様なビジネスを創造していく企業へと 変革していきます。

2024年10月期は、暗号資産の評価損計上に関する様々なご意見を頂きました。今回の会計処理についてご理解いただき、今後市場での価値を上げたり売却したりすることで利益を産むことが可能になるという前向きなご意見も頂いております。

私たちは、これまでZaifをはじめ常に新しいことに挑戦してきました。今後も、新しい領域に対して恐れずに挑戦し、常に大きな成長を目指すことが当たり前の会社になりたいと考えています。

私たちは長年にわたって培ってきたITの知見、ノウハウを生かした多様なビジネスを創造していく企業に変革していきたいと思っています。中長期的にはITを中核とするコングロマリットとして事業の幅も広げていきたいと考えています。ステークホルダーの皆様には今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

## 会社概要

名称	株式会社CAICAテクノロジーズ (CAICA Technologies Inc.)	
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸	代表取締役副社長 鈴木 偉真
設立	2019年10月7日(商号変更 2020年3月1日)	
本社所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号(レキシントン青山3階)	
資本金	301百万円(2024年10月31日現在)	
事業内容	情報サービス事業(システム開発、コンサルティング等 暗号資産、ブロックチェーンに関するシステムの 研究、開発、販売及びコンサルティング等)	
主要株主	株式会社CAICA DIGITAL 100%	
加盟団体	一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)	
取得認証	《ISO9001》	認証機関:一般財団法人日本品質保証機構(JQA) 認証番号:JQA-QM5414 適合規格:ISO 9001:2015(JIS Q 9001:2015) 登録範囲:デジタルインノベーション事業部、プロフェッショナルサービス事業部、 フィンテック戦略室 認証取得:2000.10.20 有効期限:2025.10.07
	《プライバシーマーク》	審査機関:一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) 登録番号:11820509(09) 有効期限:2026.10.15
派遣事業	労働者派遣事業	許可番号:派13-314626

## 主要取引先

アクセントリア株式会社	NTTテクノクロス株式会社	東京海上ディーアル株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	株式会社NTTドコモ	株式会社東邦システムサイエンス
株式会社AIT	株式会社NTTロジスコ	日新火災海上保険株式会社
株式会社エクサ	株式会社オージス総研	日本アイ・ピー・エム株式会社
エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社	株式会社OKIソフトウェア	日本電気株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社	キンドリルジャパン株式会社	株式会社日立社会情報サービス
NTTコムウェア株式会社	コベルコシステム株式会社	株式会社日立製作所
株式会社NTTデータ	コベルコソフトサービス株式会社	株式会社日立ソリューションズ
株式会社NTTデータ	株式会社Zaif	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
フィナンシャルテクノロジー	JBCC株式会社	株式会社日立ソリューションズ西日本
NTTデータソフィア株式会社	全日本空輸乗員組	富士通株式会社
株式会社NTTデータ東北	SOMPOシステムズ株式会社	富士通Japan株式会社
株式会社NTTデータ・フィナンシャルコア	株式会社地銀ITソリューション	三菱総研DCS株式会社
NTTデータフォース株式会社	株式会社DTS	楽天グループ株式会社
株式会社NTTデータフロンティア	株式会社電通総研	楽天ペイメント株式会社
株式会社NTTデータ・ニューソン	東京海上日動火災保険株式会社	
	東京海上日動システムズ株式会社	(敬称略 五十音順)

## ITサービス事業

CAICAテクノロジーズでは、ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しています。企業のDX化を実現します。

<p><b>ブロックチェーン</b> -----</p> <p>新規ビジネスやPoC実施、システム開発に活用可能</p> 	<p><b>NFTプラットフォーム</b> -----</p> <p>NFTの発行・流通が実現可能なプラットフォームを提供</p> 	<p><b>Gu-Gu(ブロックチェーン)</b> -----</p> <p>「ありがとう」「いいね」の気持ちをトークン化する企業価値向上ソリューション</p> 
<p><b>暗号資産交換所のシステム構築の実績例</b> -----</p> <p>高度なセキュリティ要件を満たす暗号資産交換所システムを構築</p> 	<p><b>テレワーク・クイックスタート</b> -----</p> <p>安全・安心なテレワーク環境をヒアリングから最短3日で提供可能</p> 	<p><b>セキュリティ診断サービス</b> -----</p> <p>高度なセキュリティ要件での実績から最適なセキュリティソリューションを提供</p> 

## システムインテグレーション事業

CAICAテクノロジーズは、金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販等、様々な業界領域で業務ノウハウを培ってきました。それを基に、システムの企画検討段階から、設計・構築フェーズ、運用・保守フェーズに至るまでのシステムライフサイクルに総合的な対応が可能です。フロント系やバックオフィス系から基幹系システムまで最適なシステム提供をいたします。

 <p><b>金融</b> -----</p> <p>金融業界では、銀行、生保、損保、証券等、多岐にわたる豊富な実績があります。システムの観点からはもちろん、当社コンサルタント/SEがお客様の視点に立って提案し、デザイン思考で業務最適化を図ります。</p> <p><b>銀行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日銀決済システム(RTGS)</li> <li>● 都市銀行勘定系システム全般</li> <li>● 都市銀行情報系システム共通基盤</li> <li>● 都市銀行インターネットバンキング</li> <li>● 地方銀行共同パッケージ</li> </ul> <p><b>保険</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生保顧客情報管理システム</li> <li>● 生保収納・保険金支払い業務システム</li> </ul> <p><b>証券</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 証券会社勘定系基幹業務保守</li> <li>● 証券業務バックオフィスシステム</li> </ul>	 <p><b>ポイント・決済</b> -----</p> <p>ポイント・決済領域ではフィンテックの最前線に立ち、お客様のデジタルマーケティング、キャッシュレス戦略を支援します。</p> <p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 顧客・会員管理システム</li> <li>● ポイント発行管理システム(発行/残高照会/移行)</li> </ul> <p><b>クレジットカード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クレジットカード加盟店基幹システム</li> <li>● クレジットカード与信審査業務システム</li> </ul> <p><b>キャッシュレス決済</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子マネー決済サービスシステム</li> <li>● デビットカード決済システム</li> </ul> 	 <p><b>EC・通販</b> -----</p> <p>EC通販業界においては、受発注、在庫管理、商品情報登録・管理、販売、配送、会計管理システムを中心とした豊富なシステム開発実績があります。また、O2OやBI・DWHマーケティング、決済系やアプリ開発、加えて各種周辺システムの開発実績もあり、ユーザ目線の導線設計で快適な通販業務をサポートします。</p> <p><b>ECサイト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビットコイン決済システム</li> </ul> <p><b>配送(デリバリー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小売業宅配システム</li> </ul> 
	<p><b>公共・官公庁</b> -----</p> <p>公共・官公庁領域では、電力・ガス関係や官公庁関連の業務管理システム、各種申請システムの実績が豊富です。ニーズに応え高品質なシステム開発をいたします。</p> <p><b>電力・ガス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配電自動化システム</li> <li>● スマートメータヘッドエンドシステム</li> <li>● 電力託送業務システム</li> </ul> <p><b>官公庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務効率化支援システム</li> </ul>	<p><b>オフショア</b> -----</p> <p>日本とオフショア先が各開発工程においてそれぞれの強みを活かした最適な分業システムを実現することで、トータルコストの優位性を確保すると同時に、高い技術力と高品質なサービスを提供します。</p>

# DXソリューションサービスの紹介

ITサービス事業においてクライアントのDX加速を目的として、**HCLSoftware** のパートナーに認定されました。また **Pegasystems** とパートナーシップ契約を締結しました。これによりCAICAテクノロジーズは、コンサルティングからソリューション導入、運用保守までをワンストップで提供することが可能となりました。魅力的なサービスと市場獲得・提案力UPが期待できます。

関連情報 ▶ P.14

## CAICA テクノロジーズ



PARTNER 1

### HCLSoftware

グローバル135か国以上にソフトウェアビジネスを展開。絶え間ない製品イノベーションで、フォーチュン100企業の大部分とフォーチュン500企業のほぼ半数を含む、1万8千社以上の顧客の成功を推進。

【代表的なサービス】

顧客企業が「Digital+economy」へ変革することを、「Digital Transformation」「Data & Analytics」「AI & Intelligent Automation」「Enterprise Security」などの分野からサポートし、HCL BigFix、HCL AppScan、HCL Domino、HCL Volt MX、HCL Unica といったソフトウェア製品を提供。

パートナーとして認定されました！  
将来はパートナーシップ契約の拡張も。



HCLSoftwareのポートフォリオを  
活用したサービスで、市場を開拓。  
顧客のDX化をサポート。

## CAICA テクノロジーズ



PARTNER 2

### PEGA

アメリカに本社を置くIT大手。提供している統合型プラットフォームが、有名な米国系ITアドバイザリー企業であるGartner®やForrester®から非常に高い評価を得ている。

【代表的なサービス】

ビジネスプロセス管理 (BPM)、顧客関係管理 (CRM)、ルールベースのアプリケーション開発など、様々なビジネスアプリケーションを迅速かつ効率的に構築するための統合型プラットフォーム Pega Infinity™ (Pega Platform™、Pega Customer Decision Hub™、Pega Customer Service™、Pega Sales Automation™)。

パートナーシップ契約を締結！  
双方の強みが相乗効果に。

### CAICA テクノロジーズ Professional

顧客課題を上流から下流まで  
包括的にご支援する  
コンサルティングサービスを提供



顧客課題を解決する  
ソフトウェア製品を  
オンプレミスとクラウド (SaaS) で提供

CAICA Financial Holdings Inc.

株式会社

カイカ フィナンシャル  
ホールディングス

<https://www.caica.jp/cfhd/>

## 会社概要

名称	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸
設立	2021年11月
本社所在地	東京都港区南青山5丁目11-9(レキシントン青山3階)
資本金	50百万円(2024年10月31日現在)
事業内容	金融サービス事業を統括する中間持株会社、NFT販売所運営等
主要株主	株式会社CAICA DIGITAL

# Zaif INO

『Zaif INO』  
とは？

Zaif INOはカイカフィナンシャルホールディングスが運営する  
審査制NFTローンチパッド(一次販売所)です。

サービス  
紹介

- ・ NFTローンチパッド(一次販売所)
- ・ 暗号資産やウォレットがなくてもNFTを購入いただけるサービス『NFTカード<sup>®</sup>』
- ・ ホルダー様限定特典が満載『Zaif INO メンバーズウォレットカード』

NFTカード<sup>®</sup>



Zaif INO メンバーズウォレットカード



【サービスページ】

<https://zaif-ino.com/>

【セールスページ】

<https://lp.zaif-ino.com/>

セールスに関する  
お問い合わせはこちら  
Zaif INO 公式X

[support@zaif-ino.com](mailto:support@zaif-ino.com)

[https://twitter.com/zaif\\_ino](https://twitter.com/zaif_ino)

NFTをセールしたいプロジェクトや企業を  
随時募集しています。ご興味がある方は  
[listing@zaif-ino.com](mailto:listing@zaif-ino.com) まで  
お問い合わせください。

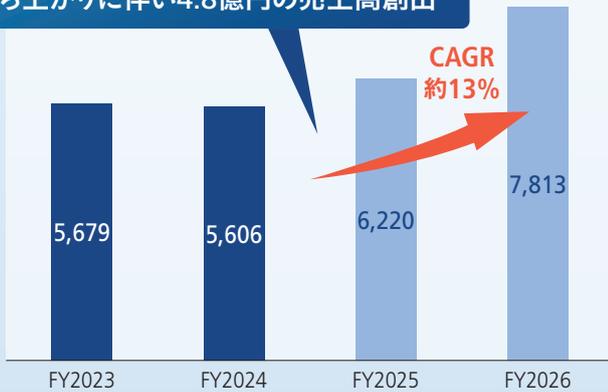
# 中期経営計画の進捗

コーポレートミッション「デジタル金融の世界を切り拓く」の具体化に向けた中期経営計画が2年目を迎えました。前年までに取り組んできたことが形になり、黒字化に向けて動き出します。

## 2024年10月期の実績と今後の見通し

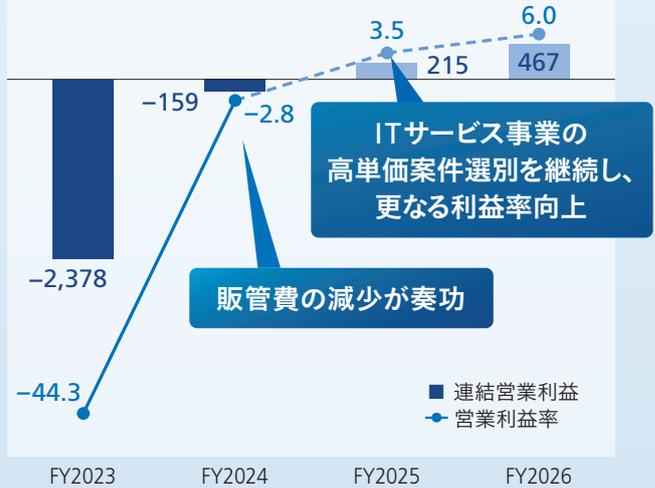
連結売上高見通し(百万円)

既存事業において約1.2億円の増収を図り、新規ビジネスのDXソリューションサービスの立ち上がりに伴い4.8億円の売上高創出



※2023年10月期は暗号資産の表示方法変更に伴い遡及処理  
※2023年10月期及び2024年10月期においては実績値を掲載

連結営業利益(百万円)／営業利益率(%)



### POINT

#### 継続企業の前提に関する重要事象等の解消

- ITサービス事業で、顧客への価格交渉や高単価案件を選別して受注する等の施策を実施
- 利益率が大きく改善、2024年10月期には営業キャッシュ・フローが黒字化
- 一時的な暗号資産の評価損の計上額を除き、営業損益も実質的に黒字化

#### DXソリューションを新たな収益ドライバーに

- 大手エンタープライズ向けDXソリューションパッケージを有する海外ベンダーと提携し、ソリューションの販売代理、コンサルティングを行うことで従前のCAICAテクノロジーの設計、保守・運用と併せフルSIとして提供が可能に
- DXソリューション営業のスペシャリストを採用強化
- 2023年10月期からの3年間でITサービス事業の人員と1人当たりの売上を8.5%増とする計画

Web3ビジネスを伸長させることで、業績の拡大を促進

ITサービス事業の人員(人)及び人員当たりの売上計画(%)



※パートナー人員数を含む  
※1人当たりの売上は、FY2023を100とした場合の伸び率



【2025年10期の見通し】

# ITサービス事業を軸に黒字化を見込む

## ITサービス事業

- 売上高は前期比**11%増**を見込む
- 既存事業において約**1.2億円**の増収を図る
- 高単価案件の選別を継続し、更なる**利益率の向上**に努める
- 新規事業DXソリューションサービスの立ち上がりに伴い**4.8億円**の売上高創出を図る

## 金融サービス事業

- 2024年10月期中に保有する暗号資産の大半を評価損計上し、備忘価格に設定済み
- 備忘価格に設定済みの暗号資産の売却額は**利益に計上**される見通し
- **Zaif INO**の取扱高拡大を図る

## 中期経営計画の達成に向けた取り組み

### 既存Web3事業の拡大

#### カイカコイン(CICC)の資産価値向上

自社発行の暗号資産カイカコインを、ゲーム内決済通貨とするなど活用シーンを増やすことで、資産価値の向上を図ります。



#### Zaif INOにおけるサービスの拡充

NFT販売サイトを初心者しやすいポップで直感的なデザインに一新。また決済手段を拡充し、クレジットカード決済とカイカコインでの決済が可能に。ウォレットや暗号資産なしでNFTが購入できる「NFTカード」の販売も開始しました。



### DXコンサルティング、DXソリューションサービスによるSIビジネスの伸長

#### Web3事業開発のノウハウを提供

暗号資産交換所ZaifやNFT販売所Zaif INOの運用経験を活かし、CtoCプラットフォームやIPを保有する企業に対して、Web3事業開発のノウハウを提供します。



#### DXソリューションのサービスに注力

CAICAテクノロジーズと海外ベンダー2社との協業による新規事業。コンサルティング力や対応力を強化していきます。



### M&Aや事業提携による事業拡大

#### 想定対象企業及び戦略



#### ブロックチェーン関連企業

ブロックチェーンを活用したサービスを展開する企業を獲得し、業績拡大を図ります。

#### Web3と親和性の高い企業

ゲーム開発会社や、独自のIPを所有する会社を獲得し、高い収益性を目指します。

#### システム開発企業

引続きマーケットは需要が旺盛です。CAICAテクノロジーズは獲得した企業のリソースを活用しつつ新規顧客の開拓に努め、事業拡大を図ります。

高単価案件を獲得し、

2026年10月期に連結営業利益**467**百万円、連結営業利益率**6.0%**を目指す

# DXソリューションサービスで拓く道



新規事業

DXソリューションサービス

2025年10月期

売上高目標

4.8億円

DXソリューションサービスを開始し、「フルSI」へ拡大!

フルSI

コンサルティング

DXソリューション

設計

DXソリューション

プロダクト販売

DXソリューション

追加システム開発

従来

導入サポート

従来

保守・運用

従来

従来

これまでCAICAテクノロジーが  
主に手掛けてきたITサービス

HCLSoftware : HCL BigFix, HCL AppScan, HCL Domino, HCL Volt MX, HCL Unica など

PEGA : Pega Infinity™ (Pega Platform™, Pega Customer Decision Hub™, Pega Customer Service™, Pega Sales Automation™)

関連情報 ▶ P.10

戦略を実現していく 2大パートナー企業

with

CAICA  
テクノロジーズ

with

HCLSoftware

PEGA

CAICAテクノロジーがこれまで手掛けてきた  
分野とのシナジー効果により、  
さらなる高付加価値な提案を可能に

CAICAテクノロジーが上流フェーズで  
顧客課題を定義する  
コンサルティング力が顧客獲得を後押し

協業に役立つ、CAICAテクノロジーの実績

百貨店向けマーチャライジングシステム / 車載ECUソフト開発 / 証券会社向け資産運用管理パッケージ / Webアプリケーションの自動生成 / 営業(MR)支援SFAシステム / 通信系通信ノード監視制御システム

協業に役立つ、CAICAテクノロジーの実績

銀行情報系システム基盤・運用 / 証券業務バックオフィスシステム / 生保業務ワークフローシステム / ネットサイト在庫自動管理システム / 電力会社向けトレーサビリティシステム / 商社貿易業務システム

CAICAテクノロジーが得られる財産

- ◆ 高ロット案件への対応を通し、**コンサルティング力がUP**
- ◆ 有名プラットフォームを土台とするアプリケーション開発により、**ソリューション対応力がUP**
- ◆ お客様企業からの紹介が次のお客様獲得につながり、**事業拡大・売上伸長**





## NFTを通じて 漫画家さんの出版を応援!

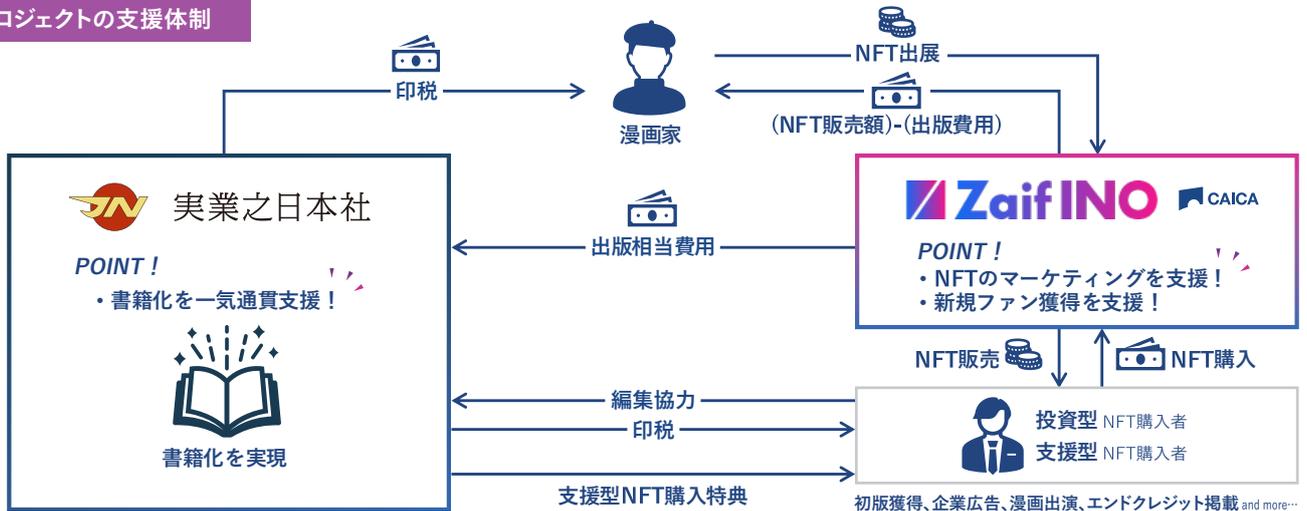
カイカフィナンシャルホールディングスは、  
(株)実業之日本社ライセンス事業開発部・  
(株)実業之日本デジタルと協業し、NFTを通じて漫画家さんの  
出版活動を応援する「NFT漫画プロジェクト」を開始しました。

これは読者の応援が直接出版に結び付き、新しいスタイルの  
漫画出版プロジェクトです。読者が自ら漫画家さんを応援し、  
作品の書籍化に貢献できる仕組みを提供しています。  
NFTの購入はとて簡単で、暗号資産やウォレットの準備など  
複雑な手続きは要りません。

「NFT購入を通じて誰かを支援する」仕組みは様々な分野に  
応用が可能であり、音楽やスポーツの才能を世に送り出すことにも  
貢献していけると考えています。

関連情報 ▶ P.11

### 本プロジェクトの支援体制



### 作品の… ① 編集会議に参加!? ② 登場人物で参加!?

#### ① 投資型 漫画NFT

NFT購入者が編集協力者として漫画制作に  
関与し、**印税を得ることができる**、  
新しい支援スタイルです。出版まで何回か  
開催される編集会議で、ストーリー、世界観、  
登場人物、画風などを、  
**漫画家さんと出版社の  
編集担当とともに  
議論します。**



#### ② 支援型 漫画NFT

漫画家さんの出版を直接サポートし、  
その証となる**NFTカードを取得する**  
支援スタイルです。  
読むだけでなく、  
作品の**エンドクレジットに  
名前を掲載されたり  
キャラクターとして物語に  
登場したりと、  
特別な体験が得られます。**



### 出版スタイルは3パターン

#### NFT書籍

購入者のみがアクセスできる  
特別なNFT形式の  
漫画を作り、公開



#### 電子書籍

購入されたNFT漫画を基に、  
一般的な電子書籍  
ストアで配信



#### 紙の書籍

購入されたNFT漫画を基に、  
紙の書籍として印刷し、  
書店やオンラインショップで販売

お知らせ

プロジェクト第1弾「らいふるちゃん」の  
投資型電子書籍出版が成立!

強み

実業之日本社

老舗の総合出版社「実業之日本社」が  
出版をサポート!

## 役員一覧 (2025年1月30日現在)

### 取締役



CEO  
代表取締役社長  
**鈴木 伸**

1991年 株式会社ジャパンシステムクリエーション(現 当社) 入社  
 2005年 株式会社アイビート(現 当社) 執行役員 第一ソリューション開発本部長  
 2008年 株式会社SJアルビース(現 当社) 執行役員 第二ソリューション事業部 事業部長  
 2009年 株式会社SJ(現 当社) 執行役員 第二ソリューション事業部 事業部長  
 聯迪恒星(南京) 情報システム有限公司 取締役  
 2010年 株式会社SJ(現 当社) 執行役員 第三ソリューション事業部 副事業部長  
 2013年 Care Online株式会社(現 株式会社ケア・ダイナミクス) 取締役 介護情報システム部長  
 当社 国内事業統轄本部 サービス事業本部長  
 2014年 当社 事業統轄本部 第一事業本部 本部長  
 2016年 当社 第一事業本部 本部長  
 2018年 当社 代表取締役社長 第一事業本部担当 第二事業本部担当 第三事業本部担当  
 BP推進室担当 フィンテック戦略室担当  
 株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト) 取締役  
 株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト) 取締役  
 株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト) 代表取締役社長  
 株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト) 代表取締役社長  
 2019年 当社 代表取締役社長 事業推進本部担当 営業部担当 第一ソリューション事業部  
 担当 第二ソリューション事業部担当 クリプトカレンシー&テクノロジー事業部  
 担当 インフラソリューション事業部担当 BP推進室担当 フィンテック戦略室担当  
 内部監査室担当 広報担当 事業推進本部長委嘱  
 SJ Asia Pacific Limited Director(現任)  
 アイスタディ株式会社(現 株式会社クシム) 取締役  
 株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式会社Zaif) 取締役  
 株式会社カイカ分割準備会社(現 株式会社CAICAテクノロジーズ)  
 代表取締役社長(現任)  
 株式会社エイム・ソフト(現 株式会社クシムソフト) 取締役  
 2020年 株式会社クシムインサイト 代表取締役副社長  
 当社 CAICAテクノロジーズ事業本部担当 内部監査室担当 広報担当  
 CAICAテクノロジーズ事業本部本部長委嘱  
 株式会社CAICAデジタルパートナーズ 代表取締役  
 2021年 eフロント証券株式会社(現 株式会社EWJ) 取締役  
 株式会社ネクス 取締役  
 株式会社Zaif Holdings(現 株式会社ZEDホールディングス) 取締役  
 株式会社カイカフィナンシャルホールディングス  
 (現 株式会社ZEDホールディングス) 取締役  
 株式会社カイカファイナンス 代表取締役社長(現任)  
 株式会社カイカエクスチェンジホールディングス  
 (現 株式会社ZEDホールディングス) 代表取締役副社長  
 株式会社カイカエクスチェンジ(現 株式会社Zaif) 代表取締役副社長  
 株式会社カイカフィナンシャルホールディングス 代表取締役社長(現任)  
 2022年 株式会社カイカエクスチェンジホールディングス  
 (現 株式会社ZEDホールディングス) 代表取締役社長  
 株式会社カイカエクスチェンジ(現 株式会社Zaif) 代表取締役社長  
 当社 代表取締役社長 スクラム事業本部担当 Web3事業本部担当 内部監査室担当  
 広報担当 Web3事業本部長委嘱(現任)  
 2023年 EWARRANT INTERNATIONAL LTD. Director(現任)  
 EWARRANT FUND LTD. Director(現任)  
 カイカ証券株式会社(現 株式会社EWJ) 代表取締役社長(現任)  
 株式会社Zaif 代表取締役会長



CFO  
代表取締役副社長  
**山口 健治**

2003年 株式会社シークエッジ(現 株式会社シークエッジ・ジャパン・  
 ホールディングス) 入社 同社 取締役  
 2010年 株式会社シークエッジ・パートナーズ(現 株式会社ヴァン  
 テージパートナーズ) 取締役  
 2011年 SEQUEDGE INVESTMENT INTERNATIONAL LIMITED  
 Director  
 2014年 株式会社シークエッジ・インベストメント(現 株式会社シーク  
 エッジ・ジャパン・ホールディングス) 代表取締役  
 2015年 当社 代表取締役 管理統轄本部担当 ガバナンス推進室担当  
 管理統轄本部長委嘱  
 SJ Asia Pacific Limited Director(現任)  
 当社 代表取締役 管理統轄本部担当 ガバナンス推進室担当  
 管理統轄本部長委嘱 財務経理本部長委嘱  
 2016年 当社 代表取締役専務 ガバナンス推進室担当 財務経理本部  
 担当 財務経理本部長委嘱  
 2017年 株式会社東京テック(現 株式会社クシムテクノロジーズ)  
 取締役  
 当社 代表取締役専務 財務経理本部担当 財務経理本部長  
 委嘱  
 株式会社ネクス・ソリューションズ(現 株式会社実業之日本  
 総合研究所) 取締役  
 株式会社ネクス 取締役  
 株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト) 取締役  
 2018年 当社 代表取締役専務 財務経理本部担当 総務人事部担当  
 財務経理本部長委嘱 総務人事本部長委嘱  
 eフロント証券株式会社(現 株式会社EWJ) 取締役(現任)  
 EWARRANT INTERNATIONAL LTD. Director(現任)  
 EWARRANT FUND LTD. Director(現任)  
 2019年 当社 代表取締役副社長 財務経理本部担当 総務人事本部  
 担当 財務経理本部長委嘱 総務人事本部長委嘱(現任)  
 アイスタディ株式会社(現 株式会社クシム)  
 取締役(監査等委員)  
 株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式会社Zaif)  
 取締役  
 株式会社カイカ分割準備会社  
 (現 株式会社CAICAテクノロジーズ) 取締役(現任)  
 2020年 株式会社CAICAデジタルパートナーズ 取締役  
 2021年 株式会社Zaif Holdings(現 株式会社ZEDホールディングス)  
 取締役  
 株式会社カイカフィナンシャルホールディングス 取締役(現任)  
 株式会社カイカファイナンス 取締役(現任)  
 2024年 当社 代表取締役副社長 管理本部担当 管理本部長 委嘱  
 (現任)  
 株式会社CAICAテクノロジーズ取締役 管理本部担当 管理  
 本部長 委嘱(現任)

## 取締役

## 取締役

## 深見 修

- 2011年 株式会社フィスコ 経営戦略本部長  
株式会社ヤシマ 代表取締役(現任)
- 2012年 株式会社ネクス(現 株式会社ネクスグループ) 取締役(現任)
- 2013年 株式会社フィスコ 取締役経営戦略本部長(現任)
- 2015年 イー・旅ネット・ドット・コム株式会社 取締役(現任)  
株式会社ネクス 取締役(現任)
- 2016年 株式会社チチカカ(現 株式会社チチカカ・キャピタル) 取締役(現任)  
株式会社グロリアツアーズ 取締役(現任)
- 2018年 株式会社ネクスプレミアムグループ 取締役(現任)  
株式会社ネクスファームホールディングス 取締役(現任)
- 2019年 株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式会社Zaif) 取締役
- 2021年 株式会社CAICAテクノロジーズ 取締役(現任)  
株式会社CAICAデジタルパートナーズ 取締役  
株式会社カイクファイナンシャルホールディングス 取締役(現任)  
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス  
(現 株式会社ZEDホールディングス) 取締役
- 2022年 カイク証券株式会社(現 株式会社EWJ) 取締役(現任)  
株式会社実業之日本デジタル 取締役(現任)
- 2023年 ITAL-J JAPAN株式会社 取締役(現任)
- 2024年 当社 取締役(現任)  
株式会社ケーエスピー 取締役(現任)  
株式会社スケブ 取締役(現任)

## 社外取締役

## 社外取締役

## 川崎 光雄

- 1996年 株式会社アットホーム 入社
- 2003年 株式会社船井総合研究所 入社
- 2011年 株式会社カテナシア 設立  
同社 代表取締役(現任)  
株式会社メディア・コンテンツ 代表取締役
- 2012年 一般財団法人アジア医療支援機構 監事(現任)  
医療法人マザーキー 理事
- 2013年 社会福祉法人善光会 理事
- 2015年 当社 取締役(現任)
- 2017年 医療法人柏陽会 理事
- 2020年 医療法人美ら海ハシイ産婦人科 理事(現任)
- 2022年 医療法人社団ハシイ産婦人科 監事(現任)
- 2023年 株式会社ソフィレ代表取締役(現任)
- 2024年 医療社団法人林産婦人科理事(現任)

## 社外取締役

## 池田 祐作

- 2004年 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 入社
- 2007年 高橋公認会計士事務所 入所
- 2010年 税理士登録
- 2012年 いけだ税理士事務所 開設 代表(現任)
- 2016年 合同会社IKEDA 代表社員(現任)
- 2021年 当社 取締役(現任)

監査役

常勤監査役

古賀 勝

- 2006年 株式会社シークエッジ(現 シークエッジ・インベストメント) 入社
- 2009年 株式会社シークエッジファイナンス 入社
- 2011年 株式会社フィスコ・キャピタル 入社
- 2012年 同社 取締役
- 2015年 当社 監査役(現任)
- 2017年 株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト) 監査役  
株式会社ネクス・ソリューションズ  
(現 株式会社実業之日本総合研究所) 監査役  
株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト) 監査役
- 2018年 eフロント証券株式会社(現 株式会社EWJ) 監査役(現任)  
株式会社シーズメン 社外監査役(現任)  
株式会社フィスコ仮想通貨取引所  
(現 株式会社Zaif) 監査役
- 2019年 株式会社ヴァルキリーキャピタル 取締役(現任)  
株式会社カイク分割準備会社(現 株式会社  
CAICAテクノロジーズ) 監査役(現任)
- 2020年 株式会社CAICAデジタルパートナーズ 監査役
- 2021年 株式会社Zaif Holdings  
(現 株式会社ZEDホールディングス) 監査役  
株式会社カイクファイナンシャルホールディングス  
監査役(現任)  
株式会社カイクファイナンス 監査役(現任)  
株式会社クシムインサイト 取締役

社外監査役

杉本 眞一

- 1990年 株式会社ボストンコンサルティング  
グループ 入社
- 1996年 富士化学工業株式会社 入社
- 2000年 アーサー・D・リトル(ジャパン)株式会社  
入社  
モニター・カンパニー・インク 入社
- 2003年 プロフェット・インターナショナル・インク  
入社
- 2007年 ボナファイデコンサルティング株式会社  
設立 代表取締役(現任)
- 2015年 当社 監査役(現任)
- 2021年 医療法人社団直芳甲会 監事(現任)

社外監査役

細木 正彦

- 1978年 川崎重工業株式会社 入社
- 1985年 監査法人朝日新和会計社  
(現 有限責任あずさ監査法人) 入所
- 1986年 青山監査法人  
(Price Waterhouse日本法人) 入所
- 1989年 公認会計士登録
- 1992年 細木公認会計士事務所 開設
- 1994年 ウィルコンサルティング株式会社 設立  
代表取締役(現任)
- 2007年 株式会社極楽湯 監査役
- 2008年 あずか信用組合 監事(現任)
- 2013年 株式会社タカヤ 監査役
- 2016年 当社 監査役(現任)

■ スキルマトリックス

氏名	当社における地位	企業経営	財務会計	事業戦略	金融知識	D I X T	マーケティング	法務・コンプライアンス
鈴木 伸	代表取締役社長	○		○		○		
山口 健治	代表取締役副社長	○	○		○			○
深見 修	取締役	○		○				
川崎 光雄	社外取締役	○					○	
池田 祐作	社外取締役	○	○					

## サステナビリティ

当社グループのサステナビリティに関する考え方や取り組みは次のとおりです。

### (1) ガバナンス

中長期的な企業価値の向上の観点から、当社はサステナビリティ課題への対応を経営の重要課題と認識しております。当社では、サステナビリティに関する基本方針や重要課題を決定するための監督の責任を、取締役会が持っています。

関係各部門から報告されたサステナビリティ課題は、コンプライアンス委員会において審議・検討します。その内容は取締役会に報告され、取締役会が監督を行います。

### (2) 戦略

労働力不足が予想される中、当社は優秀な人材の確保と生産性向上を目的として、働きがいのある社内環境の整備と、

多様性を尊重した人材の採用・育成に取り組んでいます。

#### 人材の育成及び社内環境整備に関する方針、戦略

多様な人材の活躍を支援するための施策として、柔軟な働き方を実現する取り組みの推進をはじめ、労働者不足への対応や生産性向上の観点から、性別や年齢など関係なく、様々な人材が活躍できる環境や仕組みを整備し、多様な人材

が意欲をもって活躍する組織の構築を推進しており、以下の環境を整備しております。

- テレワーク勤務の推進
- リファラル採用による雇用の促進

### (3) リスク管理

当社グループの全社的なリスク管理は、コンプライアンス委員会にて行います。サステナビリティ関連リスクを含む重要リスクについて、財務的影響、当社の活動が環境・社会に与え

る影響、発生可能性をふまえ、経営会議の協議を経て戦略・計画に反映し、取締役会に報告します。

### (4) 指標及び目標

人材多様性の確保を含む人材育成に関する方針、社内環境整備に関する方針について、下記の指標を用いております。

#### 人材育成・社内環境整備に関する方針に関する指標の内容と、当該指標を用いた目標・実績

当社は男女の区別なく、事業に貢献できる人材を採用・育成するため、男性の育児休暇取得、テレワーク勤務、育児・介護短時間勤務制度など、働き方の柔軟性を充実させる取

り組みや、有給休暇取得率80%以上といったワークライフバランスの取れた職場環境づくりを進めてまいりました。

指標	目標	実績(2024年10月期)
管理職に占める女性労働者の割合	2026年10月までに20%	4.0%
男性労働者の育児休業取得率	2026年10月までに80%	50.0%
労働者の男女の賃金の差異	2026年10月までに90%	83.2%

## コーポレート・ガバナンス

当社は、長期安定的に企業価値を向上させていくことを経営目標としておりますが、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、ビジネスパートナー、従業員、その他多くのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、信頼をいただくことが、当社グループが持続的に成長を遂げていくための基盤であると考えております。

この考えに基づき、当社はコーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題として位置付け、法令遵守・企業倫理の徹底、迅速で的確な意思決定、効率的な業務執行、監査・監督機能の強化を図るための体制づくり・施策を推進しております。

### 企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由

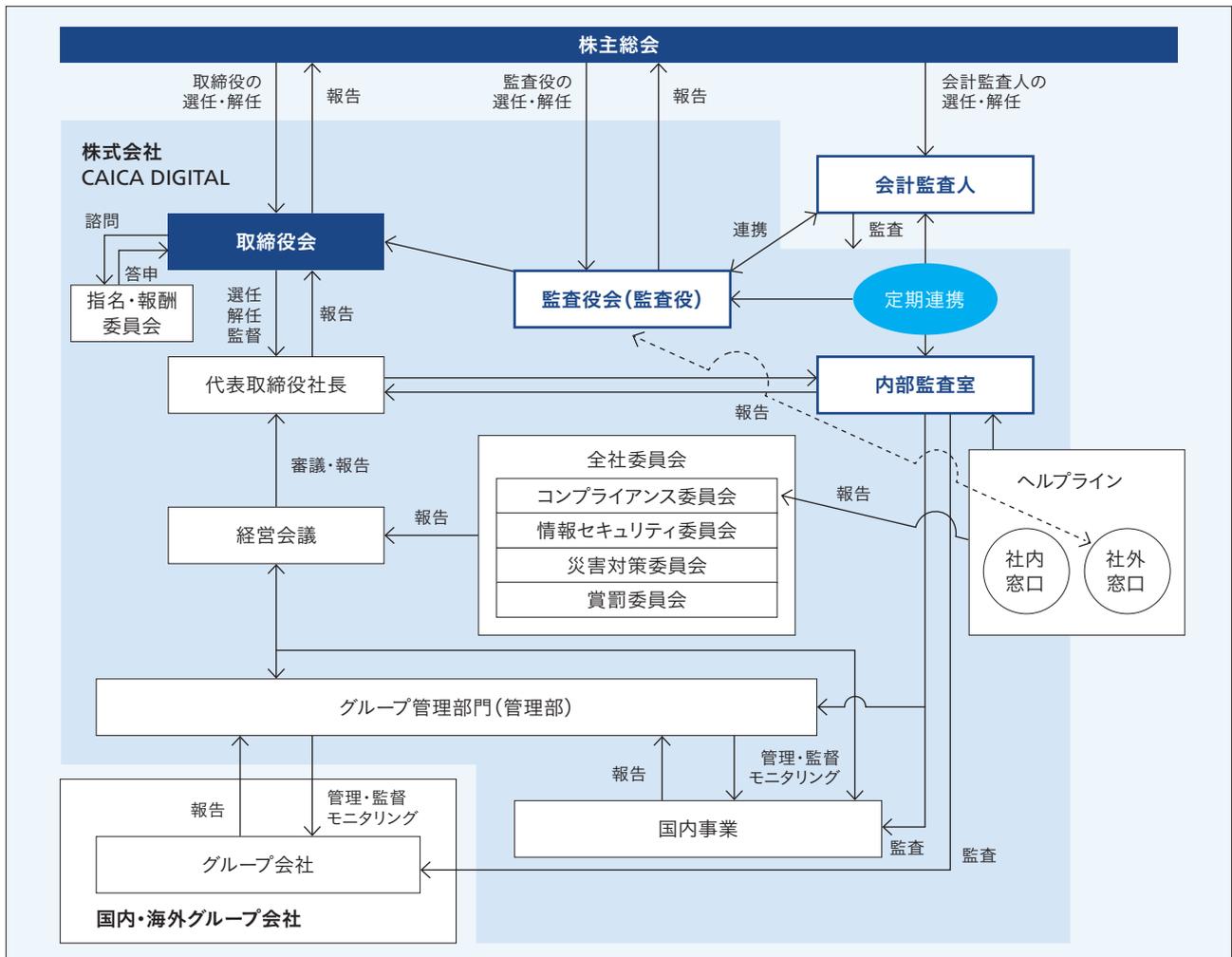
当社は、企業の健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える良質な企業統治体制を確立するために、「監査役会設置」型を採用しております。

社外取締役は、企業の経営者としての豊富な経験と幅広い見識を活かし、経営の機能性を高めると共に、経営に外部視

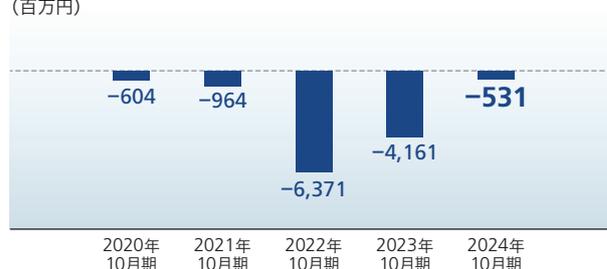
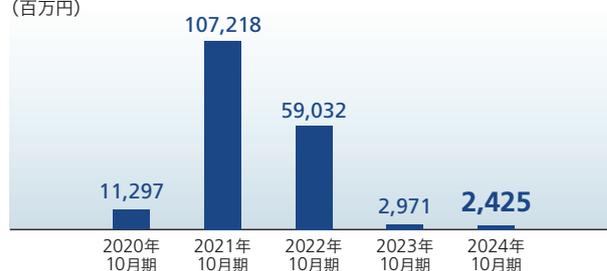
点を取り入れ業務執行に対する一層の監督機能を図る役割を担っております。

2025年1月30日現在における当社の体制は、以下のとおりであります。

### ■ 内部統制様式図



## 財務ハイライト(連結)

販管費  
(百万円)包括利益  
(百万円)純資産  
(百万円)総資産  
(百万円)1株当たり純資産  
(円)1株当たり当期純利益  
(円)自己資本利益率 (ROE)  
(%)営業活動によるキャッシュ・フロー  
(百万円)投資活動によるキャッシュ・フロー  
(百万円)財務活動によるキャッシュ・フロー  
(百万円)

## 会社概要 (2024年10月末現在)

社名(商号)	株式会社CAICA DIGITAL (英文社名) CAICA DIGITAL Inc.
設立年月日	1989年7月14日
本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山五丁目11番9号 (レキシントン青山3階)
代表電話番号	03-5657-3000
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸(すずき しん)
派遣事業	労働者派遣事業 許可番号:派13-307754
加盟団体	日本暗号資産ビジネス協会(JCBA) ブロックチェーン推進協会(BCCC)
資本金	50百万円(2024年10月31日現在)
従業員数	連結349名 単体17名
事業内容	グループ会社の管理運営等
主要取引銀行	三井住友銀行、千葉銀行、 みずほ銀行、りそな銀行

## CAICA DIGITALグループ公式サイト



### CAICA DIGITAL

<https://www.caica.jp/>



### CAICAテクノロジーズ

<https://www.caica-technologies.co.jp/>



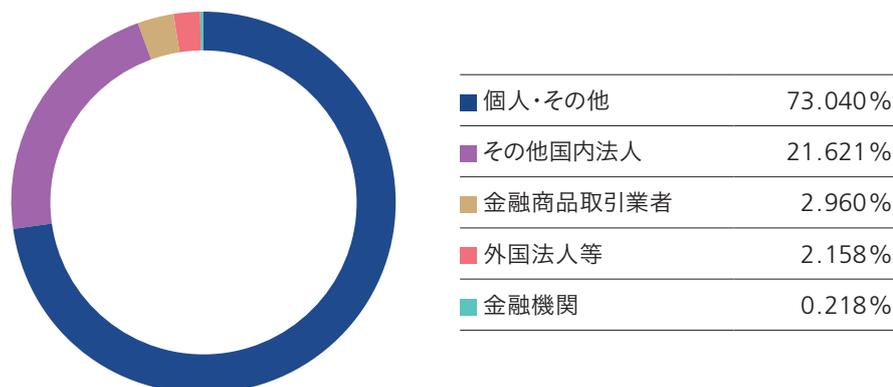
### カイカフィナンシャル ホールディングス

<https://www.caica.jp/cfhd/>

## 株式情報 (2024年10月末現在)

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	2315
発行済株式数	136,560,794株
単元株(売買単位)	100株
自己名義株式	139,361株
株主数	49,478名

### 株式の所有者別分布



### 大株主

株主名	所有株式数 (株)	所有株式数の 割合(%)
株式会社フィスコ	20,329,060	14.90
株式会社クシム	6,594,956	4.83
岸間健	1,275,000	0.93
東京短資株式会社	996,100	0.73
吉田玲子	680,000	0.50
松井証券株式会社	628,900	0.46
みずほ証券株式会社	549,600	0.40
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	548,353	0.40
藤田集司	480,000	0.35
和田建生	468,000	0.34

